

「都留市土砂災害防災訓練」の実施について

令和8年5月31日(日)に、土砂災害を想定し、災害から市民の生命や財産を守ることを目的に、自主防災会や消防団とも連携し、防災訓練を実施します。

急激な雨量増加時の災害応急対応として、指定避難所の設置、運営等訓練を実施し、災害対策業務の確実性の向上を図るとともに、各自主防災会による避難行動要支援者の確認訓練や避難訓練等を実施することにより、防災意識の高揚や地域防災力の向上を図ります。

市内 11 カ所の指定避難所において、午前 9 時 30 分から訓練を実施し、そのうち、禾生第二小学校避難所では、災害関連死予防訓練、土のう積み訓練も実施します。

【訓練の日時】

令和8年5月31日(日)午前8時～午前11時30分(雨天決行)

【訓練の場所】

各指定避難所、市内全地域(自主防災会訓練)



【県内初】「パパの育児孤立」解消へ向けた新事業を始動

～市内の地域子育て支援センターと連携し、5月より展開～

都留市では、父親等の心理的負担軽減と主体的な育児参画を促進するため、令和8年5月1日より「都留市出産・子育て期における父親等支援事業」を開始いたします。本事業は、母子保健衛生費国庫補助を活用した父親に特化した支援を行う自治体として山梨県内で初めての取り組みであり、市内複数の地域子育て支援センターへ委託し、市全域で父親を支える体制を構築します。

■ なぜ今、「父親支援」なのか？(山梨県内初の試み)

これまで子育て支援の窓口は母親を対象とすることが主流でしたが、父親の育児参画が進むにつれ、「父親ならではの孤独」や「相談先の欠如」が新たな社会課題となっています。都留市は「**誰もが孤立しない子育て環境**」のトップランナーを目指します。

■ 地域密着型の“パパ支援”を展開

本事業の最大の特徴は、市内複数の地域子育て支援センターを連携拠点とすることです。

- 地域の馴染のある場所：母親が普段利用している地域子育て支援センターを会場にすることで、父親が気軽に利用できる環境を実現します。
- 経験豊富なスタッフとの連携：地域の子育て支援の拠点である各センターのノウハウを活用し、専門スタッフや先輩パパが連携して父親たちの育児を応援します。

■ 実施内容：パパが“主役”になれる場所へ

1. 地域子育て支援センターで、父親同士が気軽に集まれる交流の場を設置。
2. 子育ての先輩である父親が、実体験に基づいたアドバイスを提供。
3. 具体的な育児スキルや知識を伝授。

■ 都留市の想い

地域全体で家族を支える文化をここ都留市から広げていきたい。 **県内初の試みとして**、地域子育て支援センターという地域の宝を活用し、市内の父親に『一人じゃない』という安心を届けます。

本事業は、地域コミュニティを巻き込んだ新たな子育て支援です。事業の目的や、各地域子育て支援センターでの具体的な取り組みについて、ぜひ取材いただけますと幸いです。



「第32回都留市ふれあい全国俳句大会」を開催します

都留市は、天和2(1682)年、江戸の大火によって家を焼かれた松尾芭蕉が一時期流寓の生活を送り、蕉風俳句への開眼を果たした地です。このことにちなみ、全国の俳句愛好家諸氏が芭蕉の心にふれると共に、俳句を通じてお互いの心の交流の場としていただくことを目的とし、都留市ふれあい全国俳句大会を開催いたします。

大会では応募された入賞作品の選評を「郭公」を主宰されている井上康明先生が行い、その後、日本文学研究者で日本伝統俳句協会会長の井上泰至先生が記念講演を行います。

なお、当日にも句会を開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。
(講演参加料・投句料は無料。キッチンカーの出店あり)

期 日 令和8年5月30日(土)

会 場 都留市まちづくり交流センター(都留市中央3-8-1 谷村町駅下車)

日 程

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| (1)受付開始 | 午前10時30分～ |
| (2)当日投句作品の部席題発表 | 午前10時30分 |
| (3)当日投句作品の部投句締め切り | 午後0時30分 |
| (4)応募作品の部入賞者発表・表彰 | |
| 同選評 井上康明先生(「郭公」主宰) | 午後1時30分 |
| (5)記念講演『俳句の「伝統」-高濱虚子と山本健吉-』 | |
| 講師:井上泰至先生(日本文学研究者) | 午後2時 |
| (6)当日投句作品の部入賞者発表・表彰 | |
| 同選評 長田群青先生(当日句選者) | 午後3時40分 |
| (7)閉会 | 午後4時30分 |

主催 都留市 都留市教育委員会

共催 山梨日日新聞社 山梨放送

協賛 都留市文化協会

後援 文化庁 山梨県 山梨県議会 山梨県教育委員会 富士急行株式会社
公立大学法人都留文科大学

令和8年度傾聴ボランティアハートの会交流会の開催について

(趣旨)

孤独・孤立や心のケアを担う傾聴ボランティアの重要性が高まっていることから、県内で活動するボランティア同士が交流を通じて互いの活動を知り、横の繋がりを強化すること、並びに基礎的な研修を通じて知識の再確認と深化を図ることを目的として開催します。

(共催)

傾聴ボランティアハートの会、社会福祉法人都留市社会福祉協議会、山梨県傾聴ボランティア連絡協議会

(日時)

令和8年5月28日(木) 午後1時30分～3時30分(受付は午後1時～)

(会場)

いきいきプラザ都留 3階 研修室

(対象者)

傾聴ボランティア活動に興味・関心のある方、社会福祉協議会の職員